

資 料

2. 水圧式エレベーターの特徴

(1) ピット150mmで設置可能

シリンダー駆動方式、つり式かご枠構造、緩衝器内蔵シリンダーの開発によりピット寸法を最小限に抑えている。重量部材はすべて浅型のピットに配置し、作業効率、安全性が従来よりも向上している。

(2) メーカー性能評価でピット下利用可能

※但し、特定行政庁の許可が必要。

(3) 水・グリコール作動液を採用し、環境に配慮した駆動方式

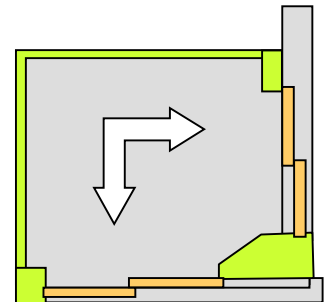
油圧式で使用していた作動油（石油）を使用しないことで、消防法における危険物に該当せず、防油堤の設置が不要となる。

(4) バリアフリー新法対応

①バリアフリー新法に準拠したサイズもある。

②駅のホーム等に設置の場合

駅プラットフォームには排水のために、その幅方向の中心から両側の線路方向に向けて勾配を設けてある。このプラットフォーム上でエレベーターの出入口が線路と直角方向にある際、防護柵などの落下防止措置がとられていないと大変危険である。この場合、プラットフォームと平行に出入口を設けることが望ましく、直角2方向出入口のエレベーターが要求され、これに対応している。



直角二方向出入口

車いす回転可能
間口1400x奥行1350mm

3. その他（設計上の注意他）

(1) 換気設備

昇降路内の温度が40℃を超えないように設備が必要。

昇降行程が3150mmを超える場合は点検口が必要。

参考

	定員 (人)	積載量 (kg)	速度 (m/min)	電動機 容量 (kw)	かご内法		昇降行程 (mm)	オーバーヘッド (mm)	ピット (mm)
					間口 (mm)	奥行 (mm)			
7人乗 1方向	7	500	30	11	900	1500	7.7	3100～3550	150
貫通2方向	7	500	30	11	900	1500	7.7	3100～3550	150
11人乗 1方向	11	750	30	11	950	2000	7.7	3100～3550	150
貫通2方向	11	750	30	11	950	2000	7.7	3100～3550	150
1方向	11	750	30	11	1400	1350	7.7	3250～3550	150
貫通2方向	11	750	30	11	1400	1350	7.7	3250～3550	150
直角2方向	11	750	30	11	1400	1350	7.5	3250～3550	150

※この資料の記載内容は2016年11月現在のものです。